

—病院理念— 「愛し愛される病院」

—基本指針—

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

杉並リハビリテーション病院になり3回目、101床全ベッドが回復期リハビリテーション病棟になりまして2回目のお正月を迎えました。

回復期リハビリテーション病棟は、脳梗塞・脳出血などの脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などの患者さまに対し、日常生活動作能力の向上などを目的にリハビリテーションを集中して行い、在宅復帰・社会復帰を支援するための病棟です。

今年も「愛し愛される病院」の理念の下、職員一同、熱い思いで患者様のリハビリテーションに取り組み、地域から信頼され魅力ある病院として更なる躍動の年となるよう努めます。

院長 かどみさ 門脇 ちかひろ 親房

あけましておめでとうございます。

昨年11月に事務長に着任いたしました大野晃宏と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

本年も回復期リハビリテーション病院のとして、入院患者様が住み慣れた自宅や地域に戻り生活が出来るよう、医師・看護師・リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカー等、全職員がチームワークを大切にして一丸となり医療サービスを提供致します。

また、急性期医療の後方支援病院として、地域の医療機関と連携を強化し、回復期適用患者様の迅速な受入れを実施致します。

今後も、全職員が医療の質向上の為、多くを学び、地域の皆様信頼される病院となるよう努力致します。宜しくお願い致します。

事務長 おの ひろひろ 大野 晃宏

全日本病院学会 鹿児島大会

H21.11.21-22 に行われた第 51 回全日本病院学会鹿児島大会にて当院より
4 題研究発表をいたしました。

リハビリ科より 2 演題

「回復期病棟における FIM と退院先の関係について」

「当院での摂食・嚥下リハビリテーションに対する意識調査」

看護部より 2 演題

「重度嚥下障害患者の経口摂取に向けたかかわり」

「日常生活動作の確立をめざした看護記録の取り組みについて」

の計 4 題です。

今回、日ごろ患者様と接する中で感じてきた問題に対し、少しずつ取り組んできたことをまとめ発表しました。摂食・嚥下や病棟 ADL の記録、FIM など、回復期リハビリテーション病院で大きな問題・課題になっているものばかりです。まとめるに当たり今まで気が付かなかったことを発見したり、自分達の取り組みが大きな成果になっていることに改めて気づき、励みになったりと良い効果をもたらしました。

今後も自宅に帰る患者様、迎えるご家族にとって安心して退院して頂けるよう一層の力を入れて取り組んでいきたいと思いをしました。



理学療法士 堀江 百江

介護トピックス～ティータイム編～



当院では2年前よりリハビリ科と看護部が協力し、訓練時間以外に活動性を高めるため、各病棟で集団リハビリを導入しました。試行錯誤の結果、現在は患者様が病棟で過ごされる日課の中に「お茶タイム(ティータイム)」を組み入れています。患者様だけでなく、面会に来られたご家族の方も一緒に参加できます。

お茶タイム(ティータイム)の目的

- ① 楽しくお茶を飲みながらレクリエーションに参加して脱水の予防を図る
- ② 日中の活動時間を増やし体力を維持向上させる
- ③ 患者交流によるコミュニケーションや社会的認知を向上させる

患者様からは・・・

みんなで歌うのがいい。
自分で作ったカレンダーを見て訓練に励んでいます。



ご家族様からは・・・

リハビリ以外でこんなレクリエーションがあるとは思わなかった
皆さん楽しそうに歌っていますね。

スタッフからは・・・

レクは奥が深い。参加してくださる方、皆さんに楽しんでもらえる
ためにどうしたらよいかいつも考えています。



看護助手 澤井 みよ子 天野 麻衣

ティータイム スケジュール

毎月の予定

日	火	水	木	金	土	日
第一週					野月のカレンダーづくり	
第二週					島南バレー大会	
第三週					ピチオ新演奏会	
第四週					筑城杯大会・フットサル	
第五週					筑城杯大会	

ふるって
ご参加下さい!

「ティータイム」とは、...

2階食堂で15時40分から16時までの間、みなさんで集まってお話やレクリエーションをしながらお茶を飲む会です



リハビリ～自助具について～

リハビリテーションでは、身体機能回復を目指す訓練のほか、在宅復帰を支援するために住宅改修や福祉用具についてのアドバイス、また自助具などの提案もしています。

この『自助具』とは、麻痺や関節の障害がある方や高齢者の方が、身の回りの動作が難しくなったときに、それを補ってくれる道具のことです。これによって、人の手を借りていたことが、できる限り自分自身で行なえるようになり、日常生活をより快適に過ごせるようになることが期待できるものです。自助具は、種類も多く市販されていますが、その方に合ったものを製作する必要のある場合もあります。

たとえば市販されているものでは、リウマチの方や手指が変形した方、麻痺で利き手交換した方に、つまみやすくしたお箸や太くて握りやすくしたスプーンやフォーク、また食べやすいように柄の角度を変えられるスプーンやフォークなどがあります。



箸先が交換できます。

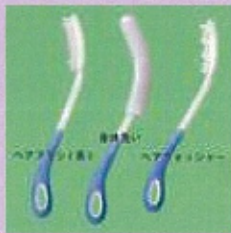
つまみやすいお箸



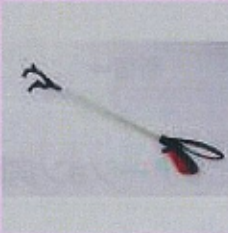
食べやすいように柄を曲げられる



角度がついていてすくいやすいお皿



柄が長い様々なブラシ



遠くにあるものを取るリーチャー

肩や手がうまくあげられない方には、柄が長くなった髪用ブラシや体を洗うためのブラシなどもあります。骨折で関節が動きにくくなった方や脊髄損傷の方、腰痛のある方に、少し離れたところにあるもの、床や下の方にあるものを取る時に使うリーチャーという、物をつかむ用具もあります。

病院では、作業療法士を中心に、その方に合った自助具の導入や使い方の練習、自助具の製作などを行なっています。

作業療法士 日野 佳子

<年末年始を食で感じよう！>

給食委員会では患者様に四季を楽しみつつ、安心して食事をして頂くために日々、工夫しております。

クリスマスでは、なるべく多くの方にケーキを召し上がっていただくために、今年からスポンジ状のものからムースに変えました。また、年末メニューには年越しそば、年始メニューにはお雑煮や黒豆など四季を楽しんで頂けるメニューを用意しました。

世間では、例年この時期にお餅をのどに詰まらせてしまうニュースをよく耳にします。当院では咀嚼(そしゃく)・嚥下機能の低い方にも安心して召し上がって頂けるように、お餅に重点をおきました。

当院が使用した「やわらか福もち」と市販の切り餅・白玉もちと比較したところ、「やわらか福もち」粘りが少なく、噛み切りやすいため食べやすいことが分かりました。

このお餅を使用したことで、患者様は安心してお雑煮を召し上がることができたようです。

私も食べましたが、本当にお餅を食べているようでした。

餅は古くから親しまれていますが、特有の粘りや、のびて噛み切れなかったり食べにくかったりします。

これからも患者様の安全第一に、四季折々の食事を楽しんでいただけるように努力していきたいと思っております。

給食委員会 佐野 佳子



赤飯
雑煮風
鰯の照り焼き
紅白なます
栗きんとん



～当院の現況～

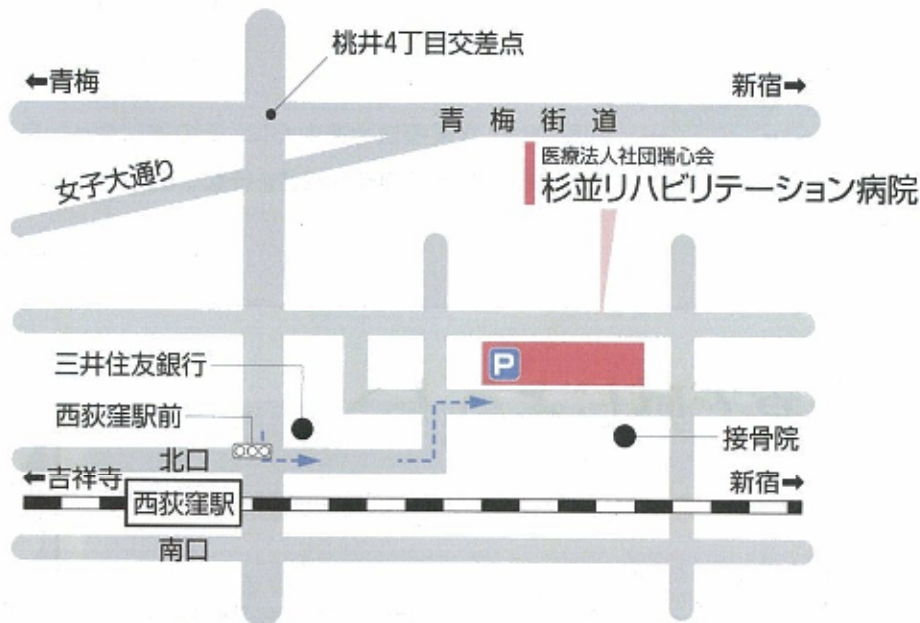
平成 21 年 10 月 平成 21 年 11 月 平成 21 年 12 月

稼働率	98.6%	97.9%	99.3%
入院延べ患者数	3122 人	3005 人	3144 人
在宅復帰率	69.4%	67.5%	58.8%
重症患者割合	22.9%	36.8%	47.5%
重症患者回復病棟改善割合	78.6%	66.7%	60.0%

* 重症患者・・・日常生活機能評価で10点以上の新規入院患者の割合

* 重症患者回復病棟改善・・・重症患者のうち3点以上の者が改善している割合

交通のご案内



- JR中央線・総武線 西荻窪駅下車 北口 徒歩2分
- 青梅街道 桃井4丁目交差点より西荻窪駅方向約1km
西荻窪駅前信号を左(一方通行)

病院概要

開院	昭和43年10月
理事長	中村 康彦
院長	門脇 親房
病床数	101床(4床室・個室)
診療科目	内科・リハビリテーション科
診療時間	毎週 月・火・水・木・金 9:00~12:30
発行責任者	門脇 親房
発行	杉並リハビリテーション病院 広報委員会

医療法人社団 瑞心会 杉並リハビリテーション病院

〒167-0042 東京都杉並区西荻北2-5-5
 TEL.03-3396-3181(代) FAX.03-3396-3186(代)

<http://suginami-reha-tokyo.jp/>